

「車いす目線から巡る七尾市直津地区」の発行にあたり

一昨年から蔓延している「新型コロナウイルス」は、もう3年目の初夏を迎えようとしています。しかし、一向に終息の兆しが見えません。「車いす目線から巡る七尾の旅」シリーズの取材活動も難しくなっています。そのような環境で何かできることはないかと考えていました。

いろいろ考えているうちに、七尾市コミュニティバス「ぐるっと7」の直津バス停が移転するという情報が入りました。それなら人がいない青山彩光苑から直津バス停までの様子を撮ってみようと思い、ボランティアの谷内進さんに協力をお願いしました。もちろん、バリアフリーの情報、対策などはありません。それでも幼い頃、石川整肢学園に入園する6歳まで過ごした宝達志水町の実家、田舎の様子を思いながら撮って行きました。

青山彩光苑から県道116号末吉七尾線へ出ると、谷内進さんがアケビを見つけ、何十年かぶりに口にしました。美味しかったです。県道116号末吉七尾線を直津方面へ進むと、両脇沿いは黄色い集団、ブタクサ(セイタカアワダチソウ)に囲まれて直津地区の集落に入って行きました。直津地区内では、稲刈りの終わった田んぼ、秋野菜の大根、白菜、甘藍(キャベツ)などが植えられた畑、家の庭には柿の木、南天の木があり、生まれ育った実家を思い浮かべながら撮って行きました。

最後に2020年10月1日から直津営農文化センター前に移設した「ぐるっと7」の直津バス停を撮影。その後、民家の庭先に咲いていた松葉菊、鶏頭(ケイトウ)などを、家の人に許可を頂いて撮影しました。最後に町内を流れている小川を撮影して、青山彩光苑へ帰りました。

今回はコロナ禍の中、昨年6月から行われた「青山彩光苑ライフサポートセンター個室増築工事」の様子を、工事開始の当初から担当介護職員に工事の様子を週に1回ぐらいで撮影をお願いしました。撮影した工事の様子を私のfacebookに紹介していましたが、今回、撮影日順にまとめさせて頂きました。

写真撮影にご協力を頂きましたボランティアの谷内進さん、「青山彩光苑」職員の皆様に深く、感謝を申し上げます。

最後に、流行が3年目となる「新型コロナウイルス」が早く収まり、皆さまの日常生活が元に戻ることをお祈り申し上げます。

2022年6月1日

障害者支援施設「青山彩光苑」

利用者：桶屋 善一